

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	技術者入門II	
科目基礎情報							
科目番号	0007			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	歸山 智治,小田 功,板垣 貴喜,松井 翔太,内田 洋彰						
到達目標							
イメージしたものをスケッチに起こし、スケッチから図面を作成し実際に製作するものづくり課題を通して技術者としての基礎を体験し、今後の学習に活用することができる。 上級生をリーダーとしたプロジェクト実習に参加し、適切に作業を実施することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	イメージしたものをスケッチに起こし図面化することができる。			イメージしたものをスケッチに起こすことができる。		イメージしたもののスケッチに起こすことができない。	
評価項目2	図面通りに製作することができる。			図面に近いものを製作することができる。		ものを製作できない。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
準学士課程 1(3) 準学士課程 2(1) 準学士課程 2(2) 準学士課程 2(3) 準学士課程 4(2)							
教育方法等							
概要	単純な構造の動くものを製作する。製作工程を通じて、機械工学に関して興味を深め、習得のために必要な体験を行う課題解決型の授業である。						
授業の進め方・方法	プロジェクトチームにより実施する課題では、ものづくりが主となるため、リーダーを中心としてチームワークを発揮し、各自しっかり手を動かし授業時間内に完成を目指す。						
注意点	上級生のリーダーとよく連携を取り、課題の成果を納期までに完成させること。 課題達成までの工程をレポートとしてまとめるため、記録のノートなどを適切に利用すること。 プロジェクトチームで解決が難しい場合は、チームだけでなく、教員等に質問し、速やかに解決を図ること。 工具を使用するため、各自安全には十分に配慮すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・グループワークと実行計画立案		ガイダンス内容を理解すること。 課題達成のために必要な実行計画を立案すること。		
		2週	課題設計 1		製作するものを考案し、図面化することができる。		
		3週	課題設計 2		製作するものを考案し、図面化することができる。		
		4週	課題製作 1		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		5週	課題製作 2		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		6週	課題製作 3		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		7週	課題製作 4		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		8週	課題製作 5		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
	4thQ	9週	課題製作 6		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		10週	課題製作 7		実行計画に基づき、課題を完成させる。		
		11週	報告書の作成・プレゼンテーション準備		製作したものの報告書の作成とプレゼンテーション資料の作成を行う		
		12週	報告書の作成・プレゼンテーション準備		製作したものの報告書の作成とプレゼンテーション資料の作成を行う		
		13週	報告書の作成・プレゼンテーション準備		製作したものの報告書の作成とプレゼンテーション資料の作成を行う		
		14週	報告書の作成・プレゼンテーション準備		製作したものの報告書の作成とプレゼンテーション資料の作成を行う		
		15週	プレゼンテーション		プレゼンテーションを行う。		
		16週					
評価割合							
	報告書	図面	発表	態度	合計		
総合評価割合	30	30	20	20	100		
基礎的能力	10	10	10	20	50		
専門的能力	20	20	10	0	50		